G-scan

取扱説明書（ルノー編）

もくじ

ご使用になる前に

はじめに

本取扱説明書では、ルノー車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

ご使用になる前に

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。

対応システム

システム名	自己診断	データ表示	アクティブテスト	作業サポート	識別情報表示
ガソリンエンジン	●	●	●	●	●
ガスエンジン	●	●	●	●	●
オートマチック ギアボックス	●	●	－	●	●
ABS.	●	●	●	●	●
バリアブルPAS	●	●	－	●	－
UCH	●	●	●	●	●
4WD	●	●	－	●	－
エアバッグ･ プリテンショナ	●	●	●	●	●
エアコン	●	●	●	●	●
コネクションユニット	●	●	●	●	●
ディスチャージランプ	●	●	●	●	－
運転席ドア	●	●	●	●	●
イモビライザ	●	●	●	●	－
インストルメントパネル	●	●	●	●	●
パーキングエイド	●	●	●	●	－
パーキング アシスタンス	●	●	●	●	－
パーキングブレーキ	●	●	●	●	●
PAS	●	●	●	●	－
サンルーフ	●	●	●	●	－
タイヤ	●	●	●	●	●
UPC	●	●	●	●	－

※注意と補足※

・ 車両により対応するシステムは異なります。

又、システムにより対応する機能は異なります。

・　識別情報表示は、車両により対応しない場合があります。

対応車種一覧

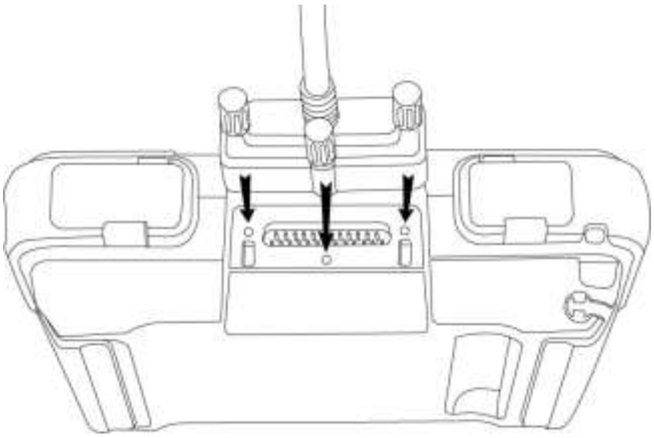
車種名		
クリオ･ルーテシア Ⅱ	クリオ･ルーテシア Ⅲ	フルエンス
カングー	コレオス	ラグナ Ⅱ PH 2
ロガン	メガーヌ	メガーヌ Ⅱ
サンデロ	セニック	セニック Ⅱ
タリア･シンボル	タリア･シンボル2	トラフィック Ⅱ
トゥインゴ	―	―

※注意と補足※

・　対応表はあくまで目安であり、対応表内の車両でも対応していない場合があります。

診断の準備

1）G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。



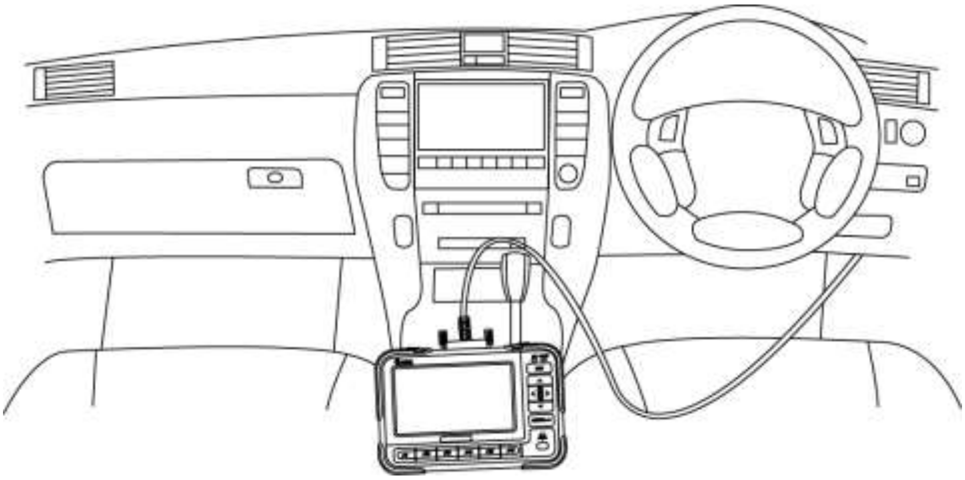
〈図：DLCメインケーブルの接続〉

警告



DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

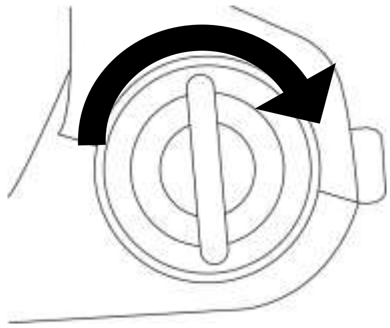
2）G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



〈図：車両との接続〉

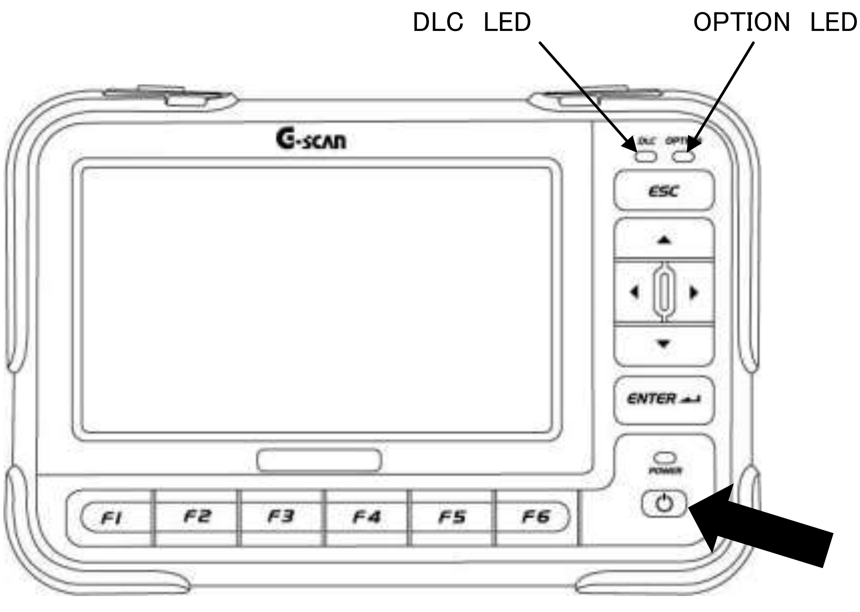
電源のON/OFF

1）車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



〈図：IG SW ONまたはエンジン始動〉

2）G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。



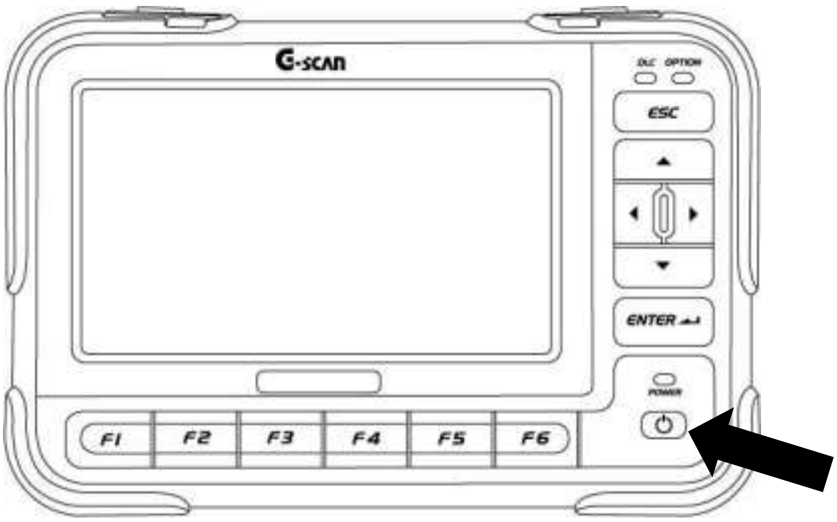
〈図：電源ON〉

3）G−scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図：G−scanメイン画面〉

4）電源をOFFする場合は、上記のG−scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G−scanの電源がOFFします。



〈図：電源OFF〉

車種、システムを選択します

1）G−scanメイン画面において『車両診断』を選択して、ENTER ボタンを押してください。



〈図：車両診断を選択〉

メーカ選択画面が表示されます。ルノーを選択して、決定 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。



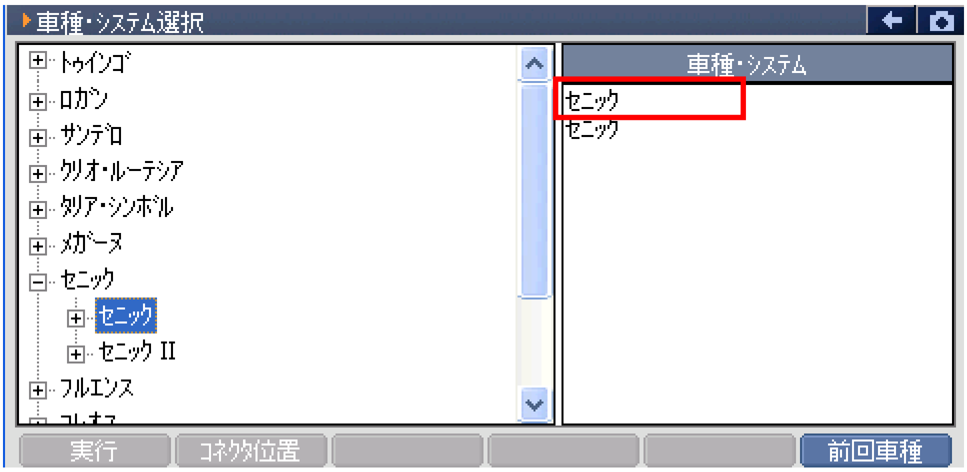
〈図：メーカ選択画面〉

2）車種・システム選択画面が表示されます。



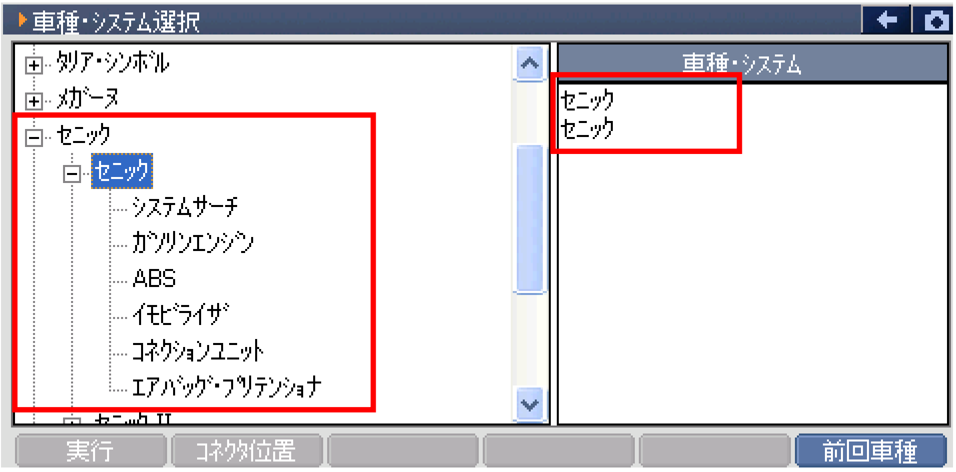
〈図：車種・システム選択画面〉

3）診断する車種を選択して ENTER ボタンを押してください。



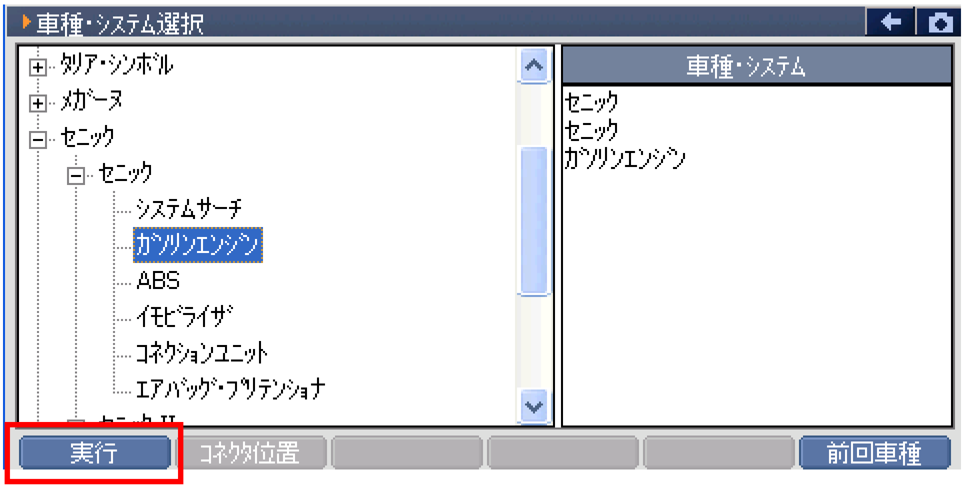
〈図：車種名の選択〉

4）車種の下にシステムが表示されます。システムを選択してください。



〈図：システムの選択〉

5）車種、システムの選択が完了したら、 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。



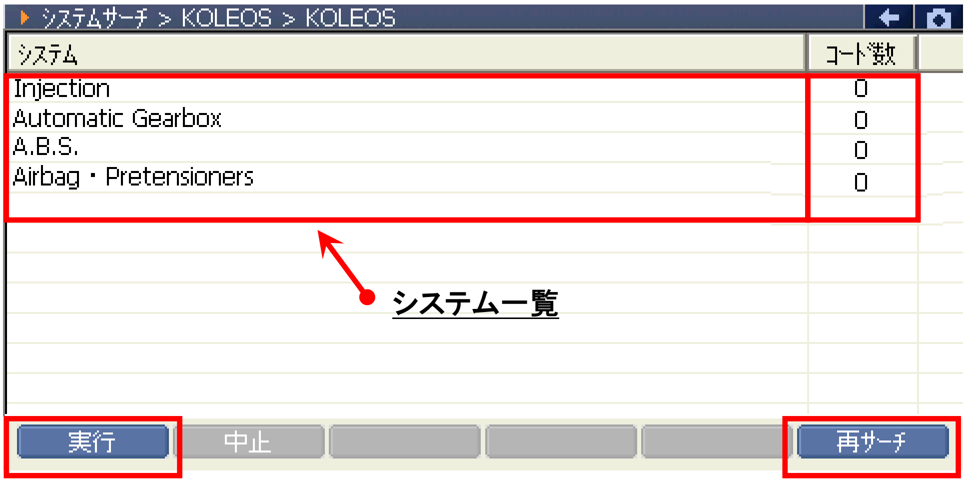
〈図：車種、システムの選択完了〉

※注意と補足※

- 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと、前回選択した車種、システムが自動で選択されます。

・　システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧とそのシステムの故障コード数を表示します。システム一覧からシステムを選択後 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、6)の診断メニューが表示されます。 再サーチ ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと再度システムサーチを行います。

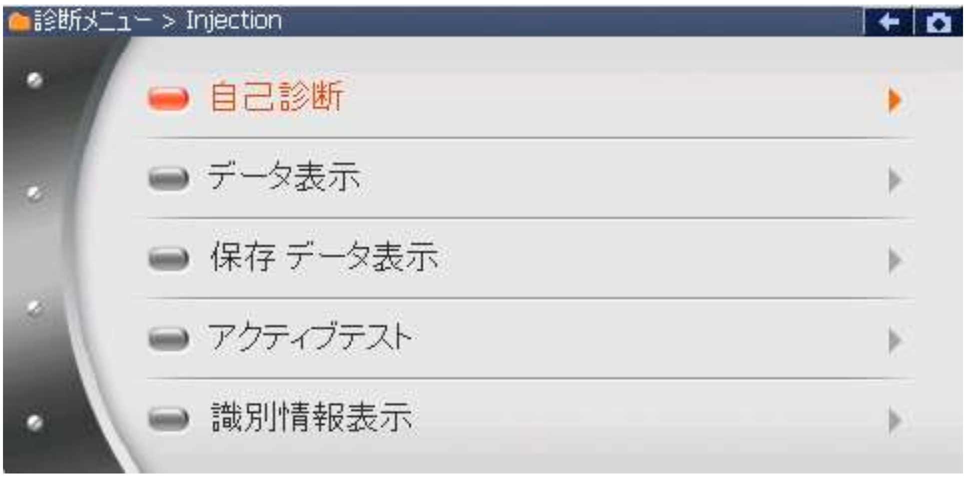


〈図：システムサーチ画面〉

※注意と補足※

・　自己診断機能の無いシステムはコード数に”X”が表示されます。

6）車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

※注意と補足※

・ 診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。

・ 対応システムと機能の関係に関してはP6をご参照ください。

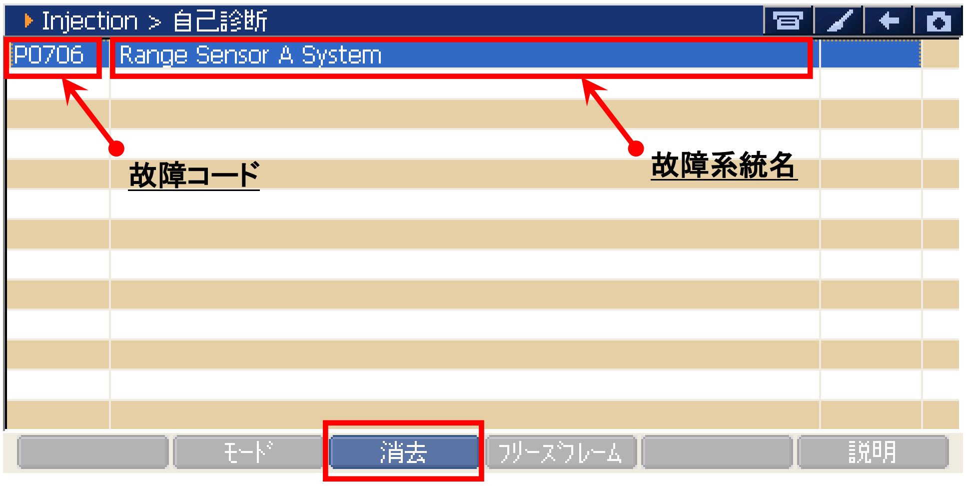
診断機能

1）診断メニューにおいて『自己診断』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

2）自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



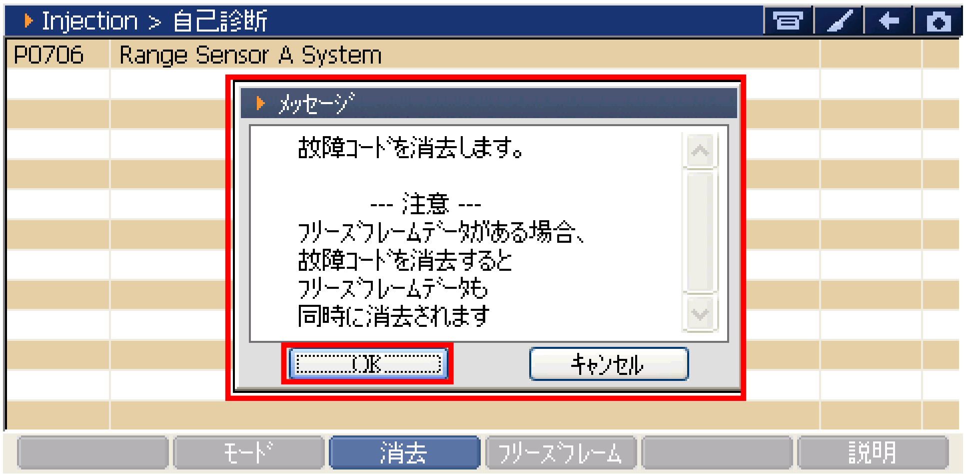
〈図：自己診断画面〉

故障コード ： ルノー独自の故障コードNo.、又はSAEコード（例：P0135）が表示されます。

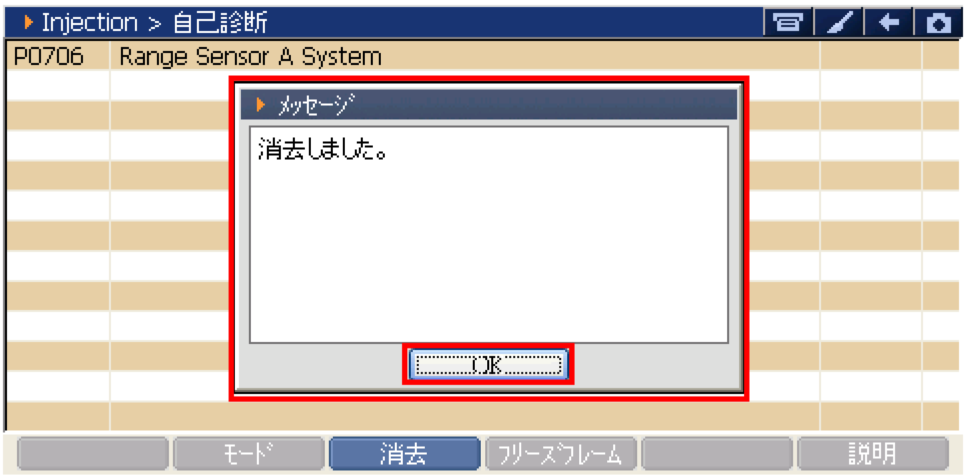
故障系統名 ： 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、ルノーのサービスマニュアルをご参照さい。

消去 自己診断記憶を消去します。【詳細は3)を参照】

3） 消去 ボタンをタッチ、又は F3 ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、 OK ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



〈図：故障コードの消去〉



〈図：故障コードの消去完了〉

※注意と補足※

・ アイドリング状態で消去を行うと「消去できませんでした。」のメッセージが表示される場合がありますが、その際は、イグニッションONの状態で再度、消去を行ってください。

1）診断メニューにおいて『データ表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。

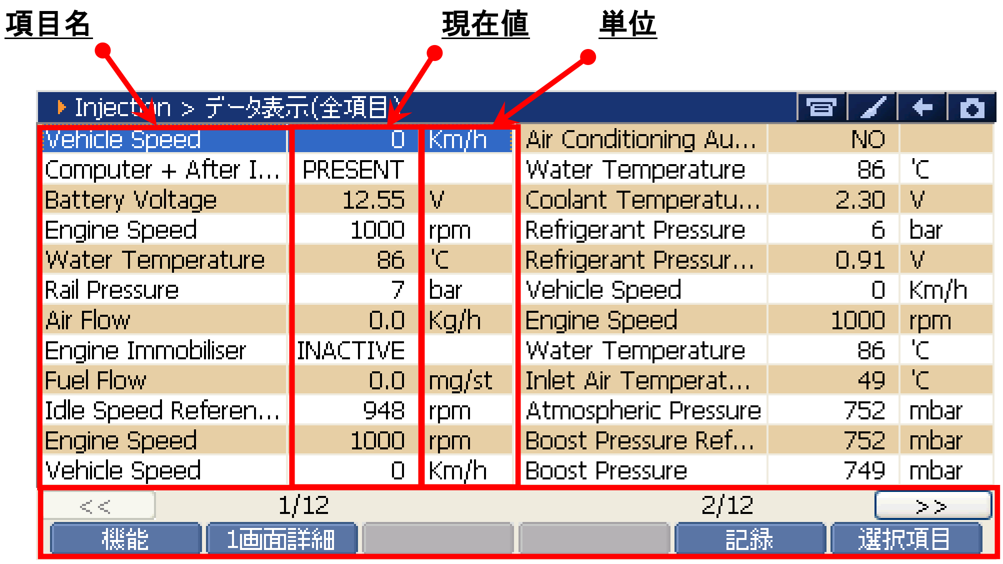


〈図：診断メニューにてデータ表示を選択1〉



〈図：診断メニューにてデータ表示を選択2〉

2）データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。



Vehicle Speed	0	Km/h	Air Conditioning Au...	NO	
Computer + After I...	PRESENT		Water Temperature	86	'C
Battery Voltage	12.55	V	Coolant Temperatu...	2.30	V
Engine Speed	1000	rpm	Refrigerant Pressure	6	bar
Water Temperature	86	'C	Refrigerant Pressur...	0.91	V
Rail Pressure	7	bar	Vehicle Speed	0	Km/h
Air Flow	0.0	Kg/h	Engine Speed	1000	rpm
Engine Immobiliser	INACTIVE		Water Temperature	86	'C
Fuel Flow	0.0	mg/st	Inlet Air Temperat...	49	'C
Idle Speed Referen...	948	rpm	Atmospheric Pressure	752	mbar
Engine Speed	1000	rpm	Boost Pressure Ref...	752	mbar
Vehicle Speed	0	Km/h	Boost Pressure	749	mbar

〈図：データ表示画面〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

<< 前のページを表示します。

>> 次のページを表示します。

機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP27を参照】

1画面詳細 1画面表示に切替えます。【詳細はP25 3)を参照】

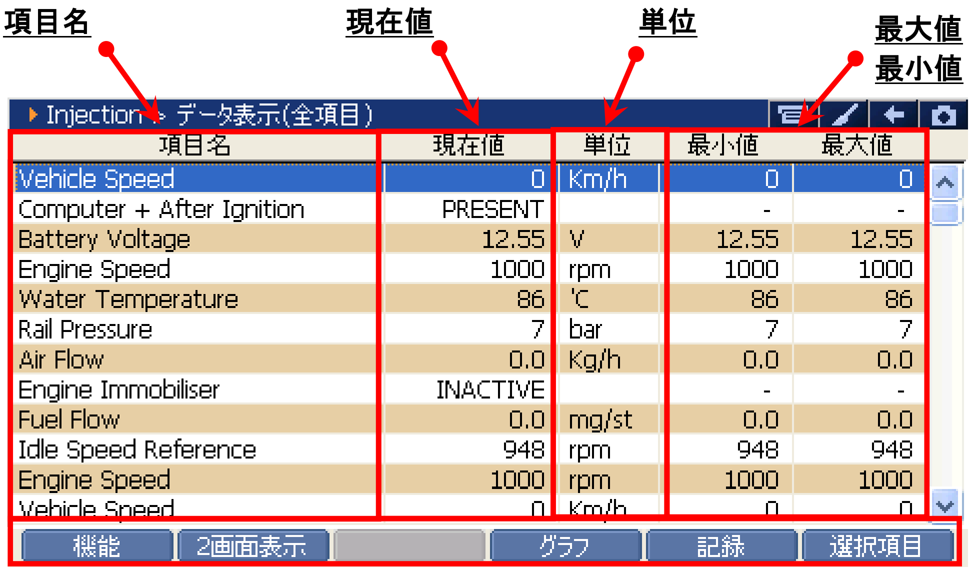
記録 データを記録します。【詳細はP31を参照】

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP37を参照】

※注意と補足※

・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

3） 1画面詳細 ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。



項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Vehicle Speed	0	Km/h	0	0
Computer + After Ignition	PRESENT		-	-
Battery Voltage	12.55	V	12.55	12.55
Engine Speed	1000	rpm	1000	1000
Water Temperature	86	℃	86	86
Rail Pressure	7	bar	7	7
Air Flow	0.0	Kg/h	0.0	0.0
Engine Immobiliser	INACTIVE		-	-
Fuel Flow	0.0	mg/st	0.0	0.0
Idle Speed Reference	948	rpm	948	948
Engine Speed	1000	rpm	1000	1000
Vehicle Speed	0	Km/h	0	0

〈図：データ表示画面　1画面表示〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

最大値/最小値 ： 最大値と最小値が表示されます。

機能　最大最小値のリセットを行います。【詳細はP27を参照】

2画面表示　2画面表示に切替えます。

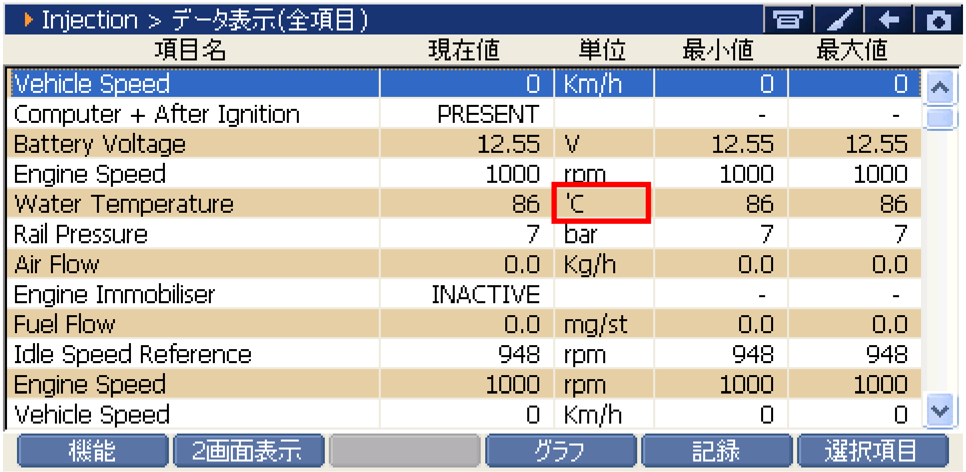
グラフ　数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP28を参照】

記録　データを記録します。【詳細はP31を参照】

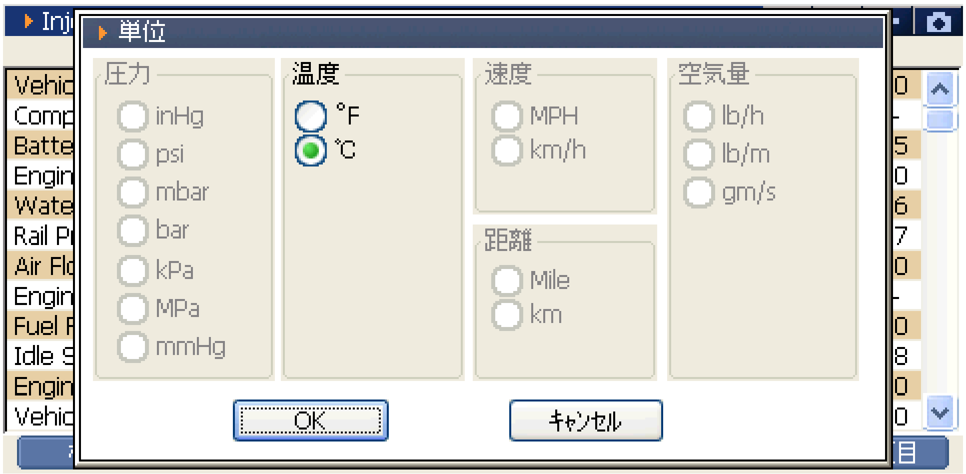
選択項目　表示する項目を選択します。【詳細はP37を参照】

※注意と補足※

・『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。



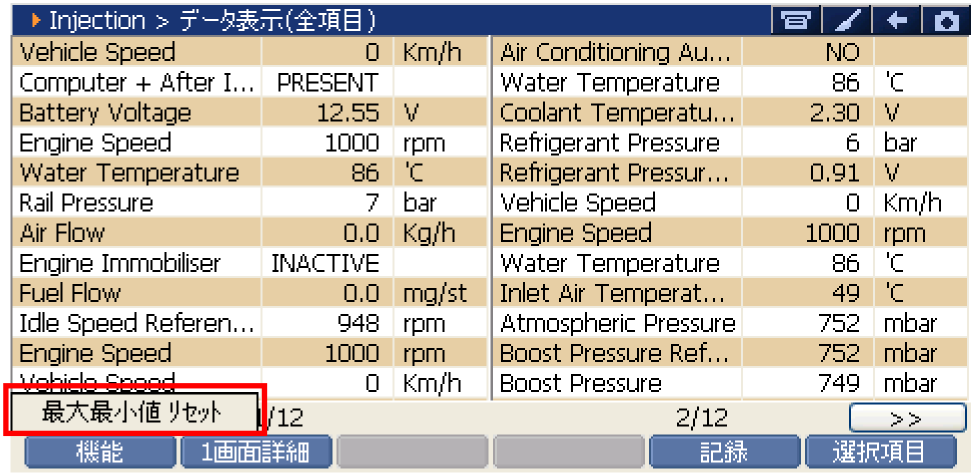
〈図:単位をタッチ〉



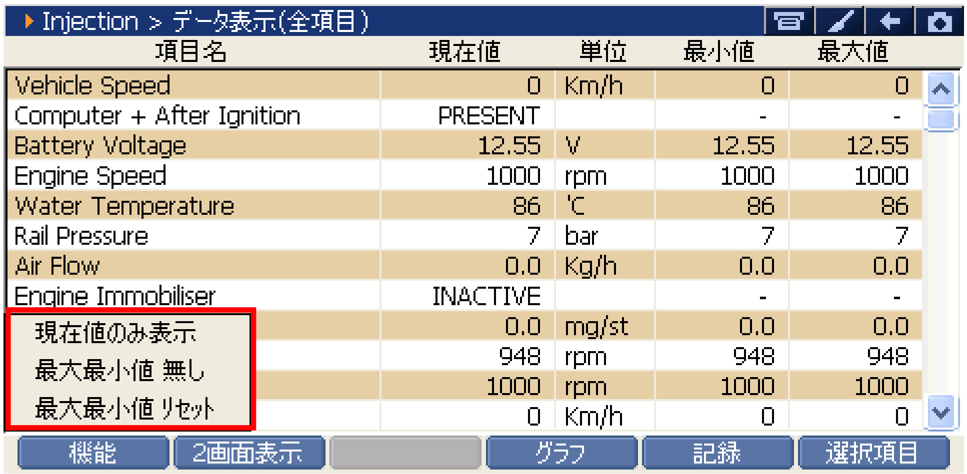
〈図:単位変更画面〉

■ 機能 ボタンの詳細

① 機能 ボタンをタッチ、又は FI ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図：２画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉



〈図：１画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

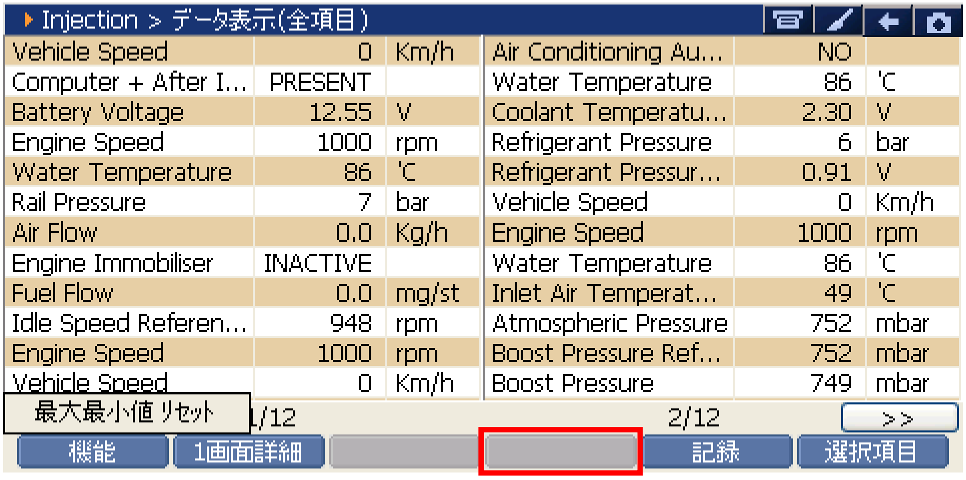
現在値のみ表示 ： 現在値のみ表示されます。

最大最小値無し ： 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は１画面表示状態のみ表示されます。

最大最小値ﾘｾｯﾄ ： 最大値、最小値をリセットします。

■ グラフ ボタンの詳細

① １画面表示状態で画面下部の グラフ ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図：1画面表示状態〉



〈図：グラフ表示画面〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

Max/Min ： 最大値/最小値が表示されます。

MinMaxリセット 最大値、最小値をリセットします。

★ グラフリセット グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP29を参照】

戻る 数値表示に戻ります。

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP37を参照】

② グラフ表示画面で画面下部の ★グラフリセット ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。

数値軸の上下値の幅

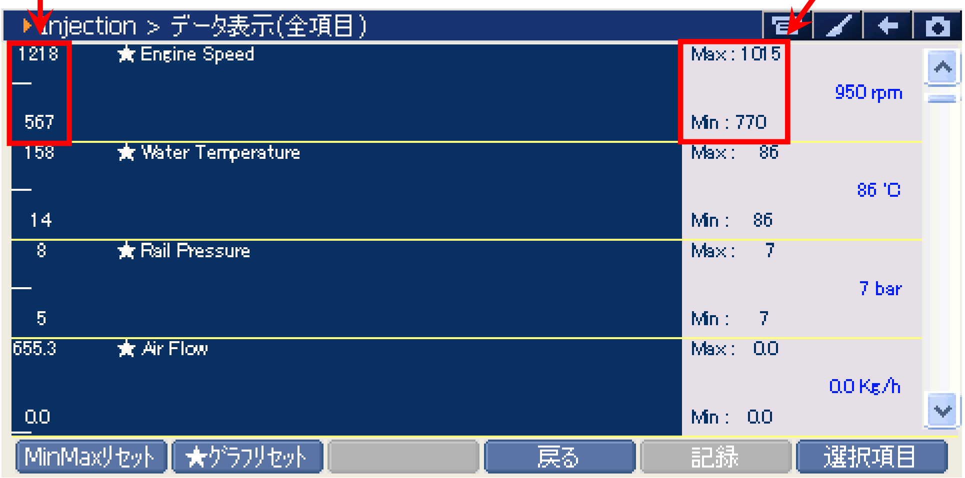
※下記の表示サンプルは実際のものとは異なります。



〈図：グラフリセット前〉

最大値/最小値の値に合わせて上下値を補正

最大値/最小値



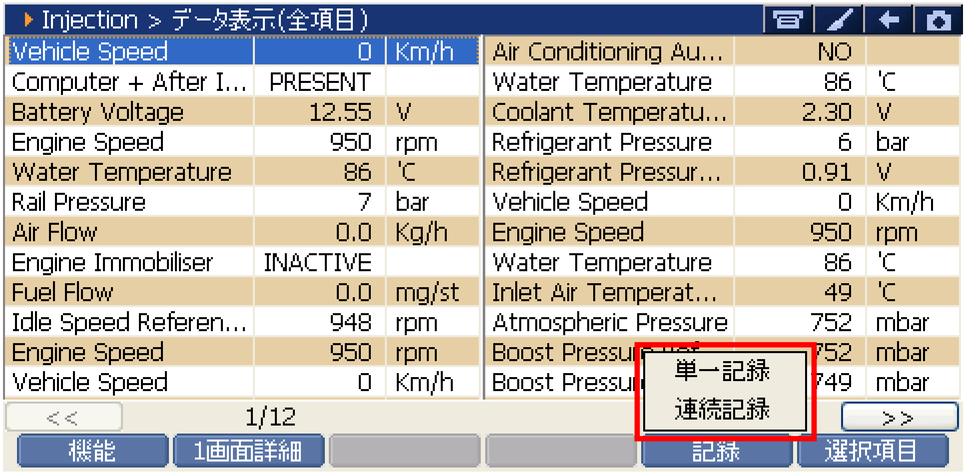
〈図：グラフリセット後〉

※注意と補足※

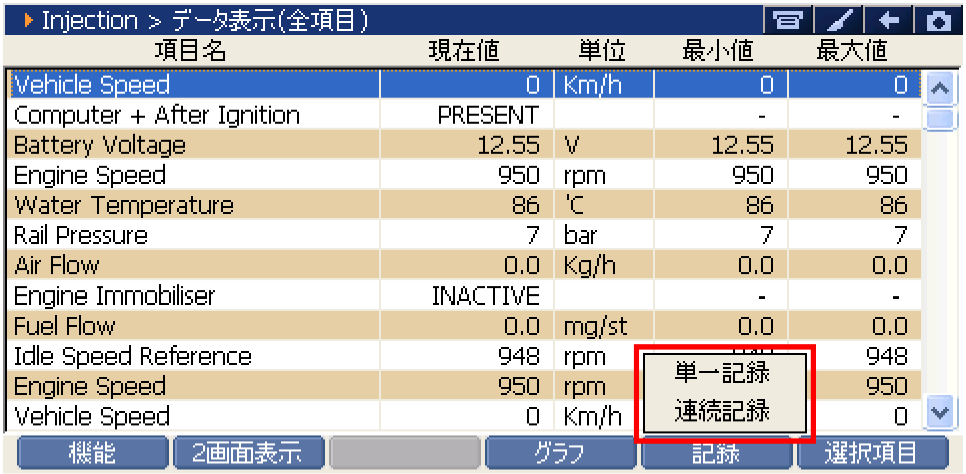
- グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。
  その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

■ 記録 ボタンの詳細

① 記録 ボタンをタッチ、又は F5 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図：2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉



〈図：1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

単一記録 ： 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP32 ②を参照】

連続記録 ： 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP35 ⑥を参照】
最大記録時間は60分です。

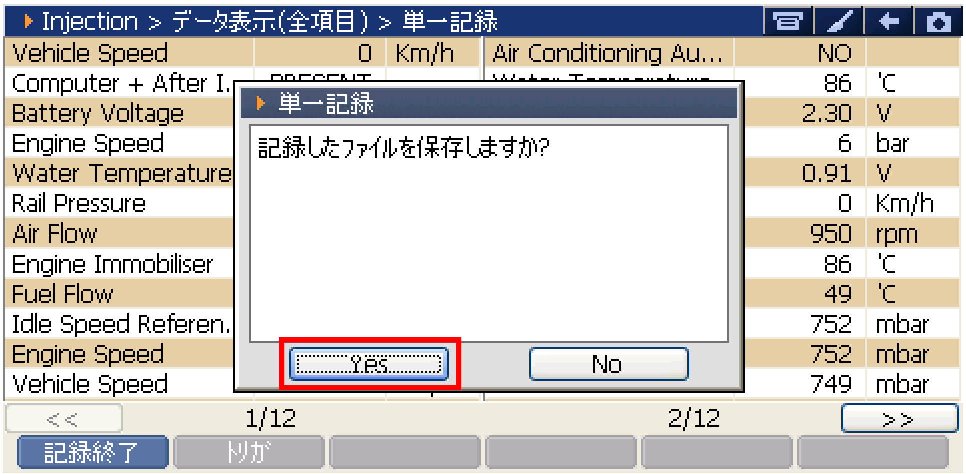
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。



〈図：単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 Yes を選択してファイルを保存してください。 No を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



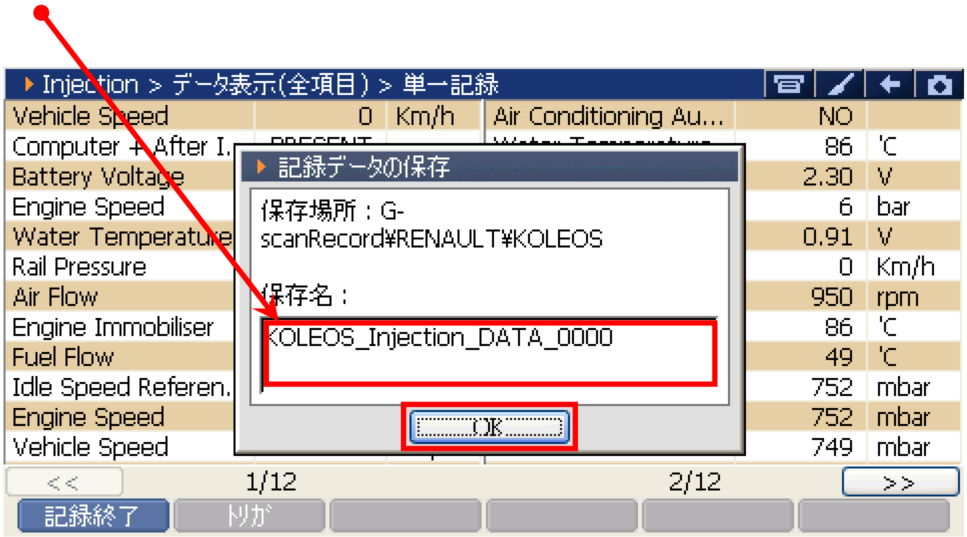
〈図：記録完了後ファイルの保存確認〉

④ 保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、 OK をタッチして記録データを保存してください。

ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

ファイル名を変更する場合は
タッチしてください



〈図：保存ファイル名の確認〉

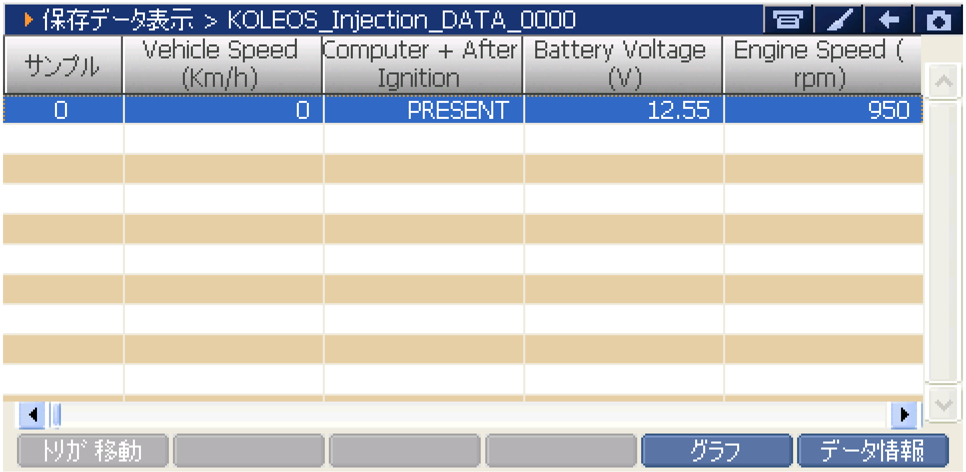
入力パネル



〈図：保存ファイル名の変更〉

⑤　ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。

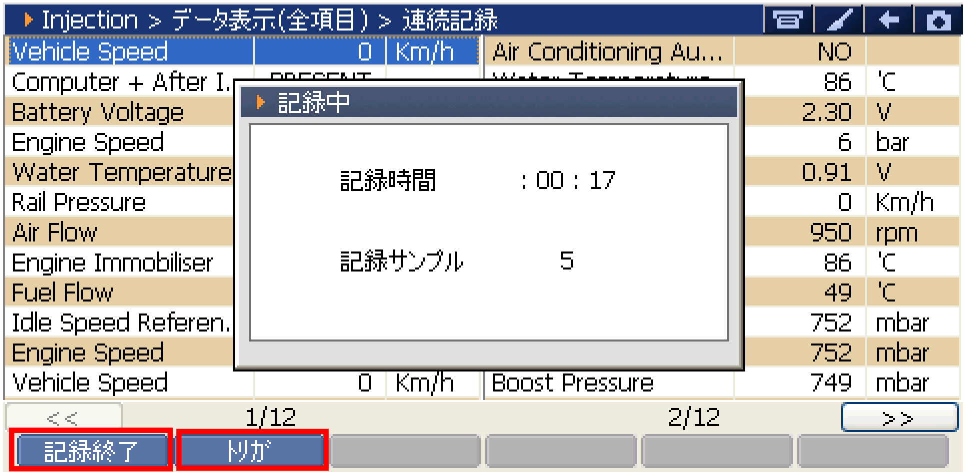
詳細に関してはP40をご参照ください。



〈図：保存データ表示画面〉

⑥　『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。

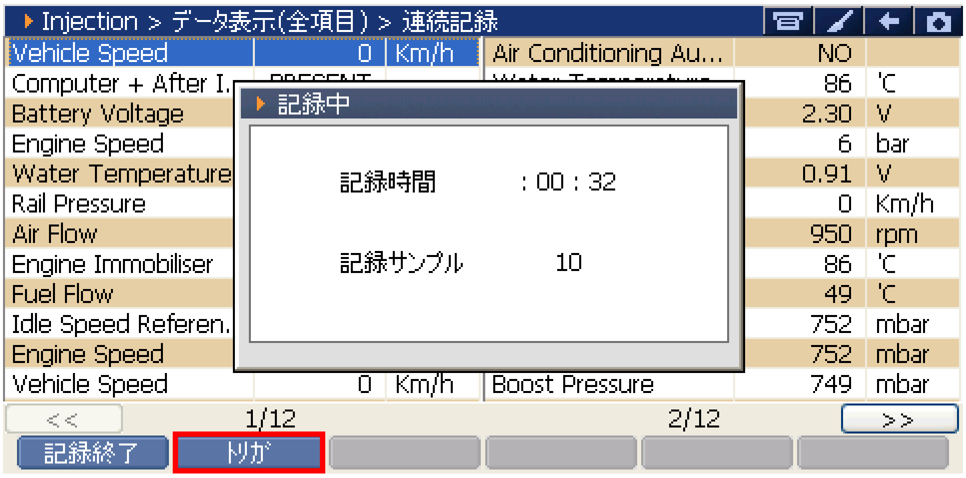


〈図：連続記録で記録中〉

トリガ　トリガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】

記録終了　記録を終了します。【詳細はP36 ⑧を参照】

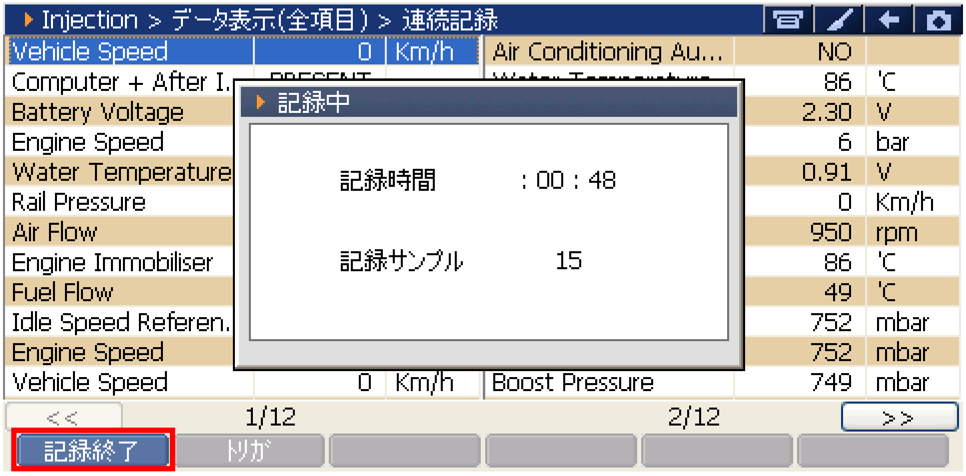
⑦　記録中に トリガ ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前（−1.−2.−3サンプル……）、トリガ後（1.2.3サンプル……）のデータを記録することができます。



〈図：トリガボタンを選択〉

⑧ 記録を終了する場合は、記録終了ボタンをタッチ又はFIボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで(0サンプル～……)のデータを記録します。

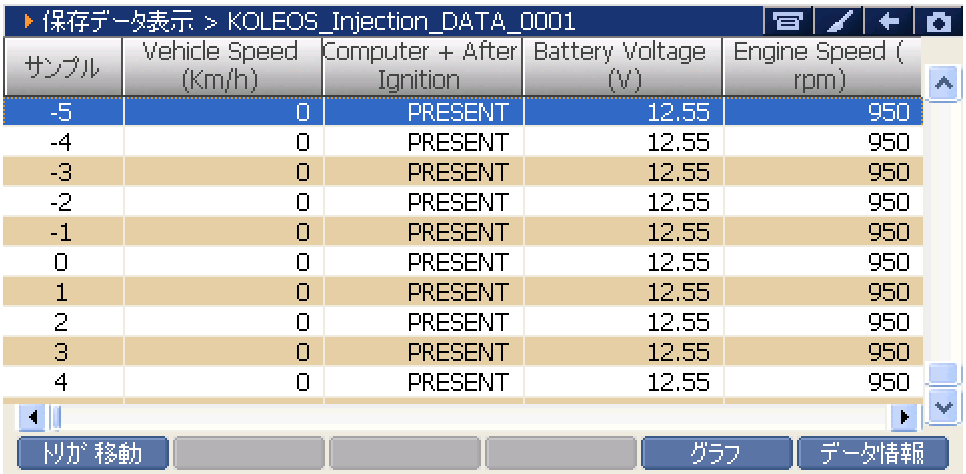
記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP32 ③、P33 ④をご参照ください。



〈図：記録終了〉

⑨ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。

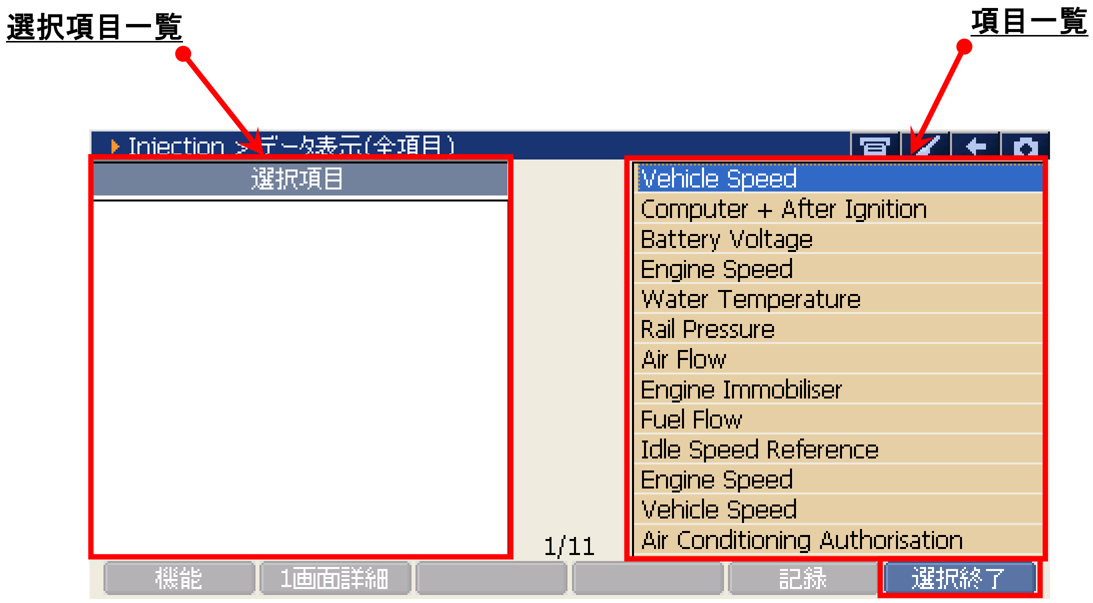
詳細に関してはP40をご参照ください。



〈図：保存データ表示画面〉

■ 選択項目 ボタンの詳細

① 選択項目 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



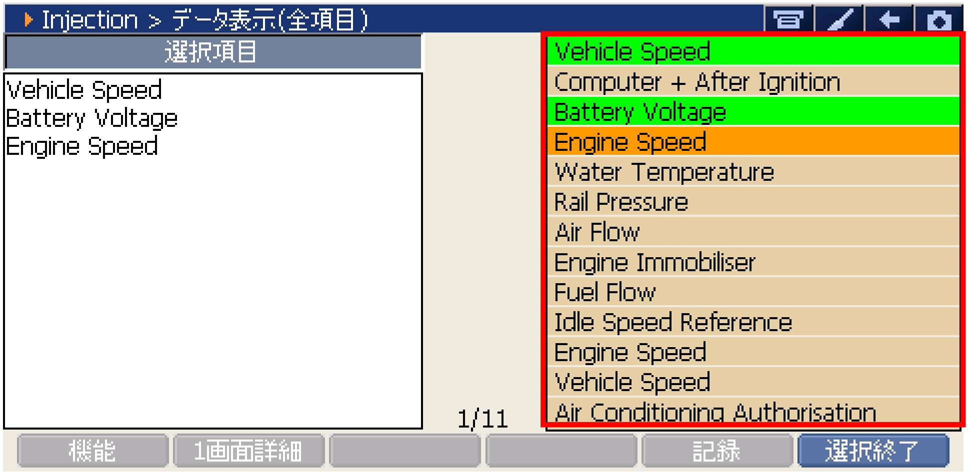
〈図：表示項目の選択〉

選択項目一覧 ： 項目名が表示されます。

項目一覧 ： 項目一覧が表示されます。

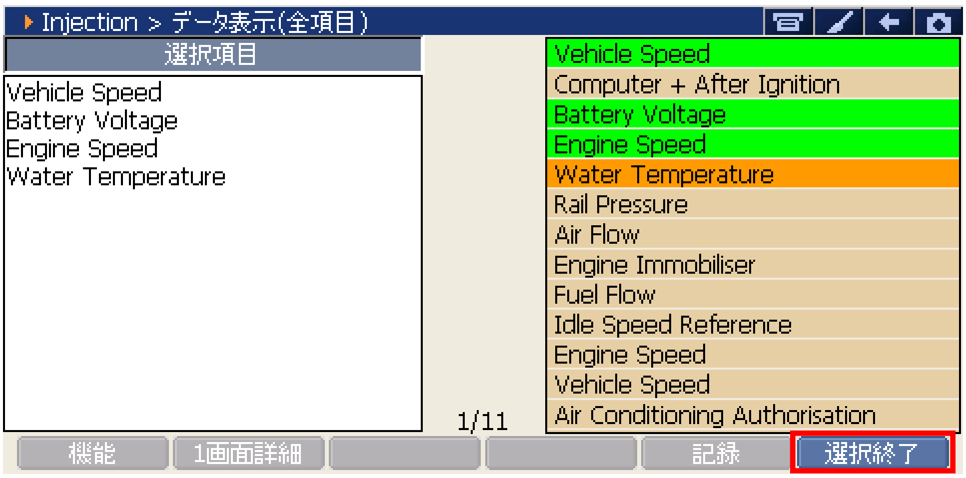
選択終了 選択を終了します。

② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。◀ ▶ ボタンを押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図:表示項目の選択〉

③ 項目の選択を終了する場合は、選択終了 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。



〈図:選択の終了〉

④　データ表示画面に選択した項目が表示されます。

全項目の表示に戻す場合は、全項目ボタンをタッチ、又はF2ボタンを押してください。



〈図：選択項目の表示〉

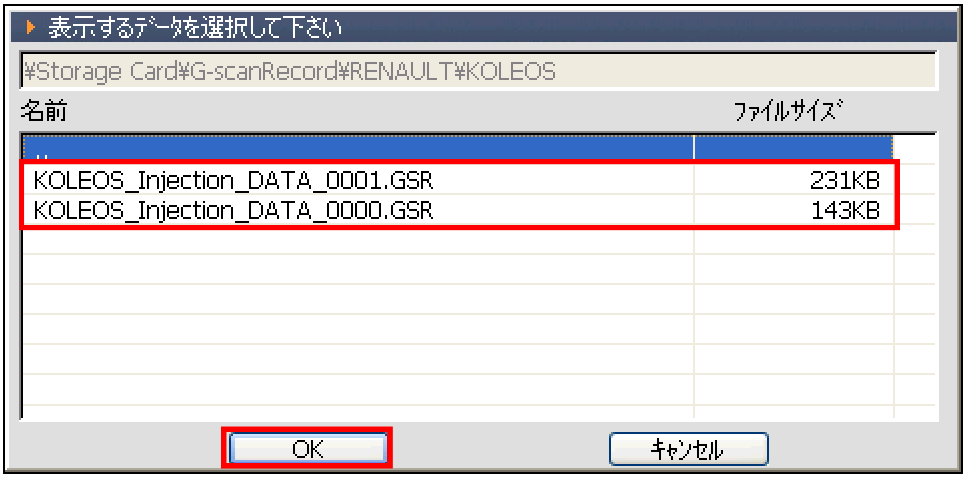
1）保存データ表示機能ではデータ表示機能で記録、保存したデータを表示することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて保存データ表示を選択〉

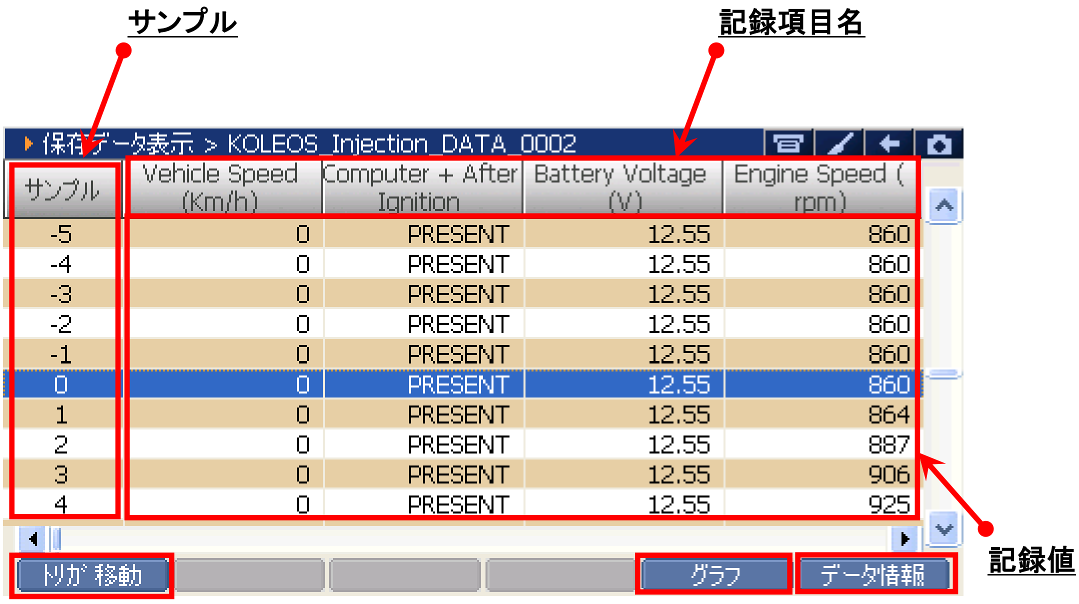
2）保存ファイル名の一覧が表示されます。

表示するファイル名を選択して OK ボタンをタッチしてください。



〈図：保存ファイル一覧〉

3）データ表示で保存したデータが表示されます



サンプル	Vehicle Speed (Km/h)	Computer + After Ignition	Battery Voltage (V)	Engine Speed (rpm)
-5	0	PRESENT	12.55	860
-4	0	PRESENT	12.55	860
-3	0	PRESENT	12.55	860
-2	0	PRESENT	12.55	860
-1	0	PRESENT	12.55	860
0	0	PRESENT	12.55	860
1	0	PRESENT	12.55	864
2	0	PRESENT	12.55	887
3	0	PRESENT	12.55	906
4	0	PRESENT	12.55	925

〈図：保存データ表示画面〉

サンプル ： 記録数が表示されます。

記録項目名 ： 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。

記録値 ： 値が表示されます。



0サンプル位置に移動します。【詳細はP42を参照】



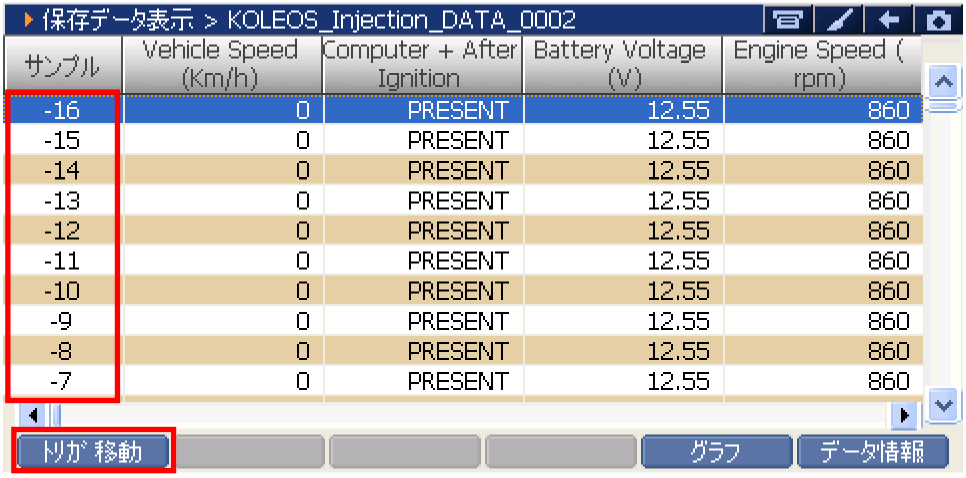
記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP43を参照】



保存したデータの情報を表示します。【詳細はP46を参照】

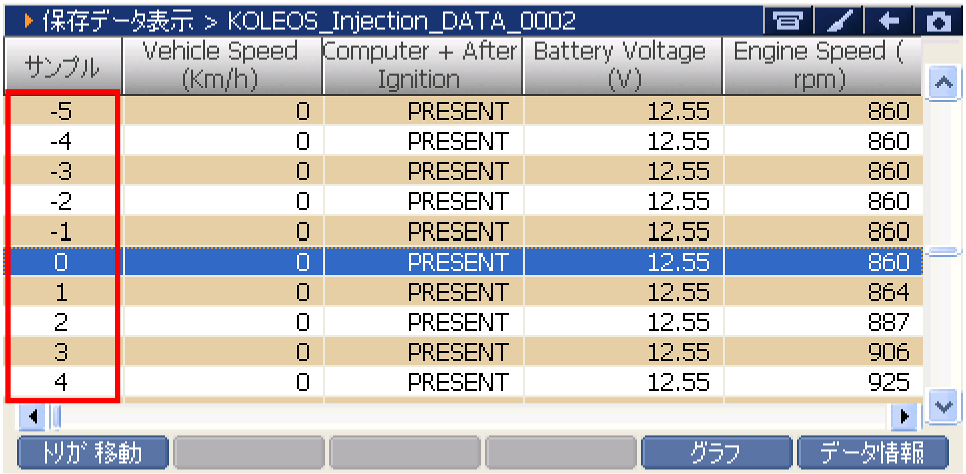
■ ﾄﾘｶﾞ 移動ボタンの詳細

① ﾄﾘｶﾞ 移動 ボタンをタッチ、又は FI ボタンを押すと0サンプルの位置に移動します。



サンプル	Vehicle Speed (Km/h)	Computer + After Ignition	Battery Voltage (V)	Engine Speed (rpm)
-16	0	PRESENT	12.55	860
-15	0	PRESENT	12.55	860
-14	0	PRESENT	12.55	860
-13	0	PRESENT	12.55	860
-12	0	PRESENT	12.55	860
-11	0	PRESENT	12.55	860
-10	0	PRESENT	12.55	860
-9	0	PRESENT	12.55	860
-8	0	PRESENT	12.55	860
-7	0	PRESENT	12.55	860

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉

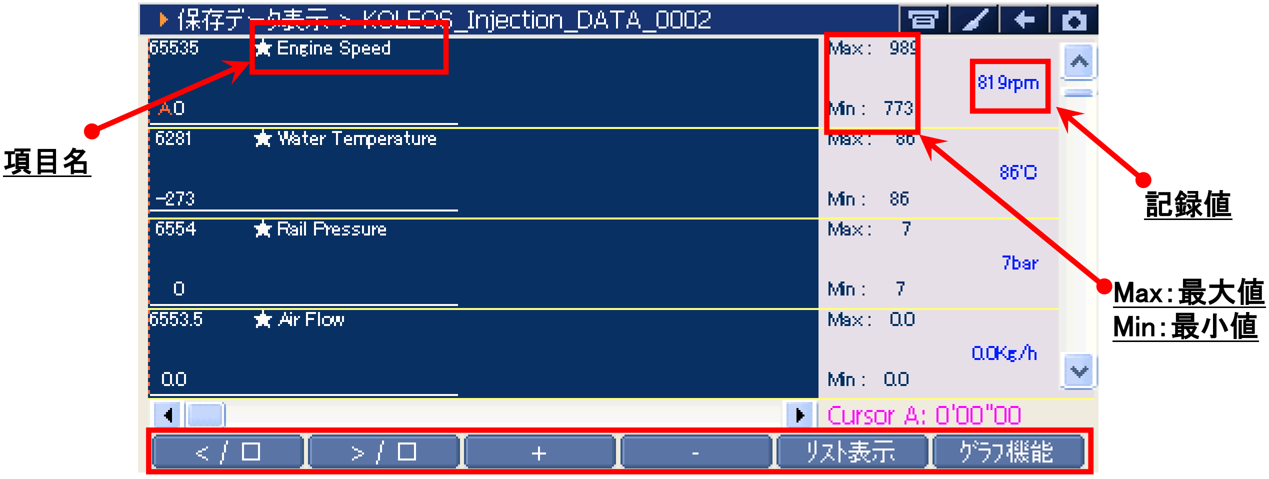


サンプル	Vehicle Speed (Km/h)	Computer + After Ignition	Battery Voltage (V)	Engine Speed (rpm)
-5	0	PRESENT	12.55	860
-4	0	PRESENT	12.55	860
-3	0	PRESENT	12.55	860
-2	0	PRESENT	12.55	860
-1	0	PRESENT	12.55	860
0	0	PRESENT	12.55	860
1	0	PRESENT	12.55	864
2	0	PRESENT	12.55	887
3	0	PRESENT	12.55	906
4	0	PRESENT	12.55	925

〈図:0サンプル位置に移動〉

■ グラフ ボタンの詳細

① グラフ ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図：記録データのグラフ表示〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

記録値 ： カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値 ： 最大値、最小値が表示されます。

＜ / □ グラフを左に送ります。

＞ / □ グラフを右に送ります。

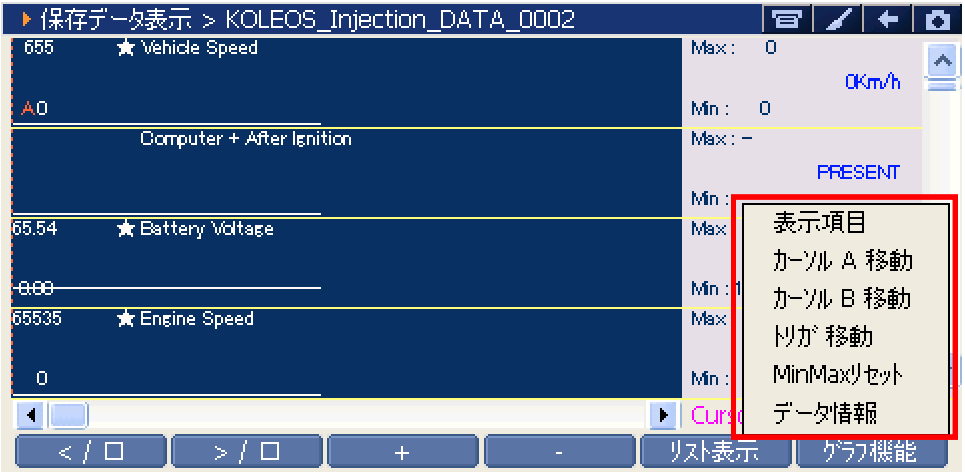
＋ グラフを拡大します。

- グラフを縮小します。

リスト表示 数値表示に戻ります。

グラフ機能 グラフ機能を使用します。【詳細はP44 ②を参照】

② ｸﾞﾗﾌ機能 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図：グラフ機能の詳細〉

表示項目 ： 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】

カーソルA移動 ： コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP45 ④を参照】

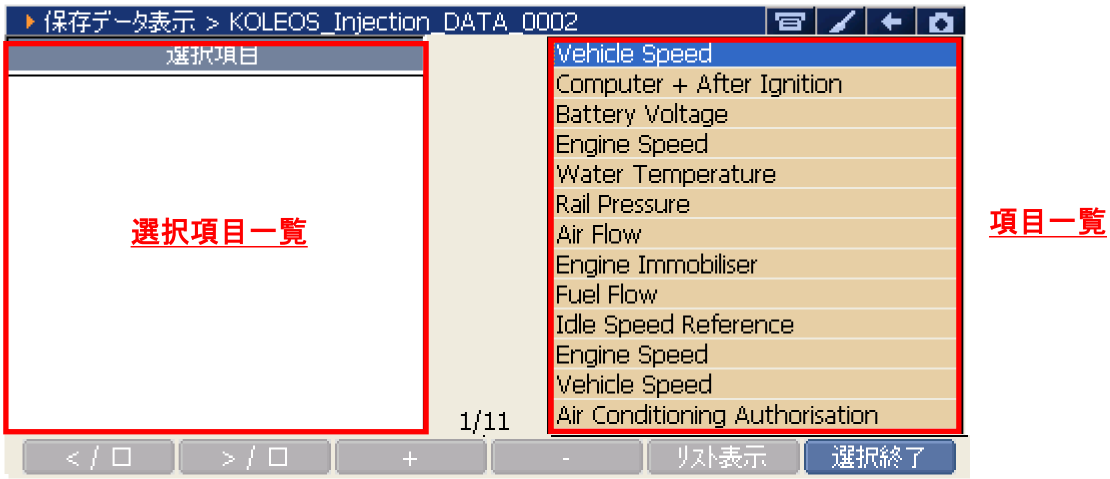
カーソルB移動 ： コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP45 ⑤を参照】

トリガ移動 ： カーソルAをトリガ位置（0サンプルの位置）に移動します。

MinMaxﾘｾｯﾄ ： 最大値、最小値をリセットします。

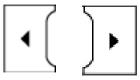
データ情報 ： 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP46 ①を参照】

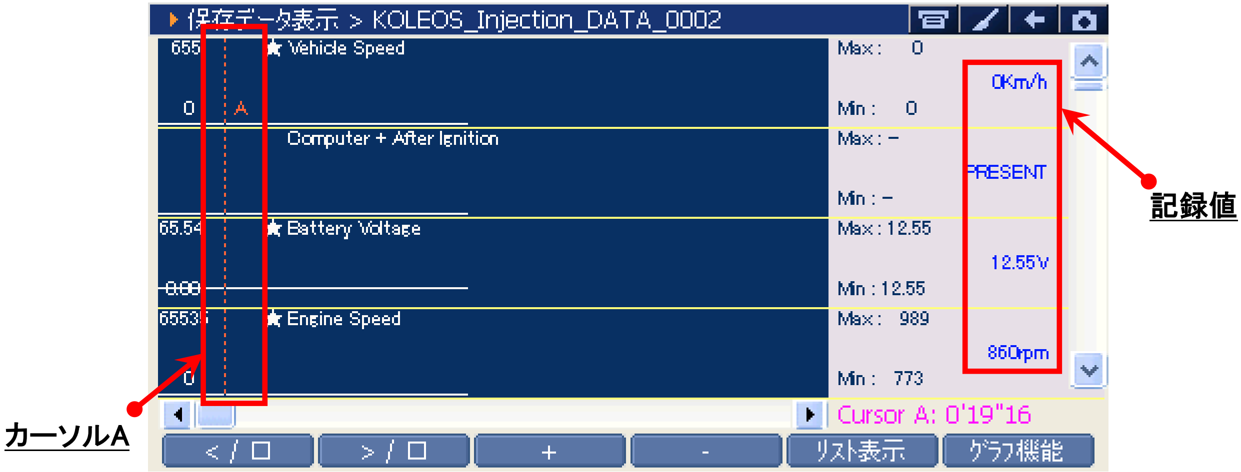
③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。 ◀ ▶ ボタンでページ移動します。 最大で12項目を選択可能です。



〈図：表示項目の選択〉

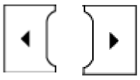
④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

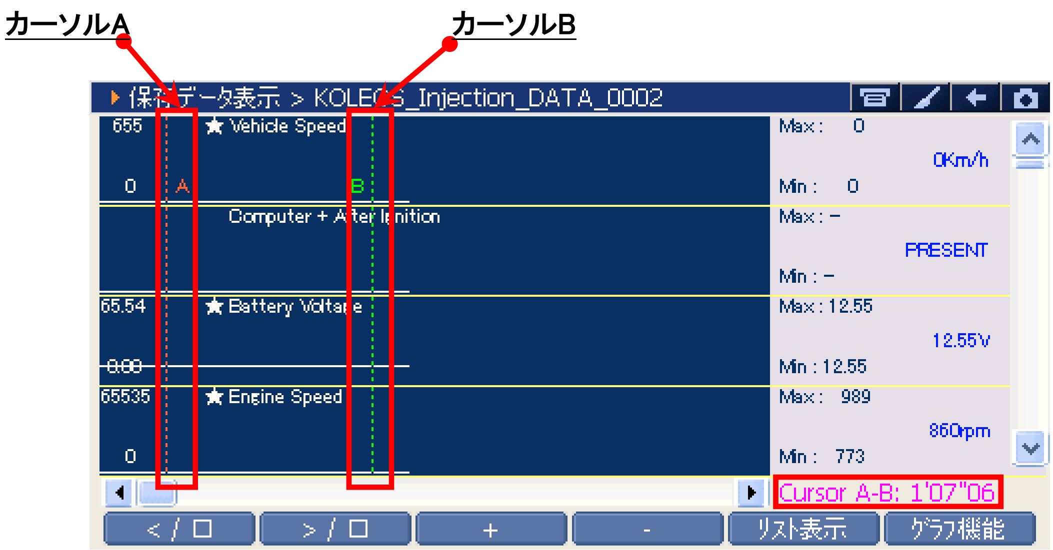
 ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

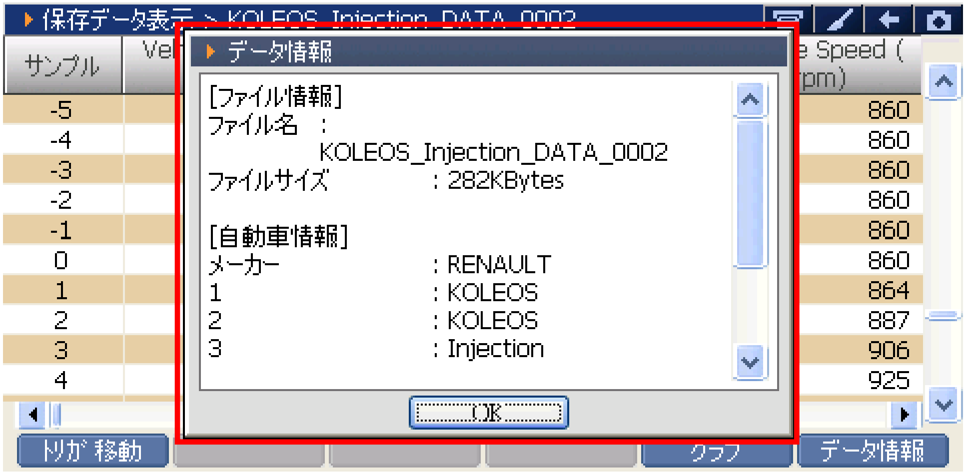
 ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図:カーソルBを移動選択〉

■ データ情報ボタンの詳細

① データ情報 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すか、グラフ機能 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。

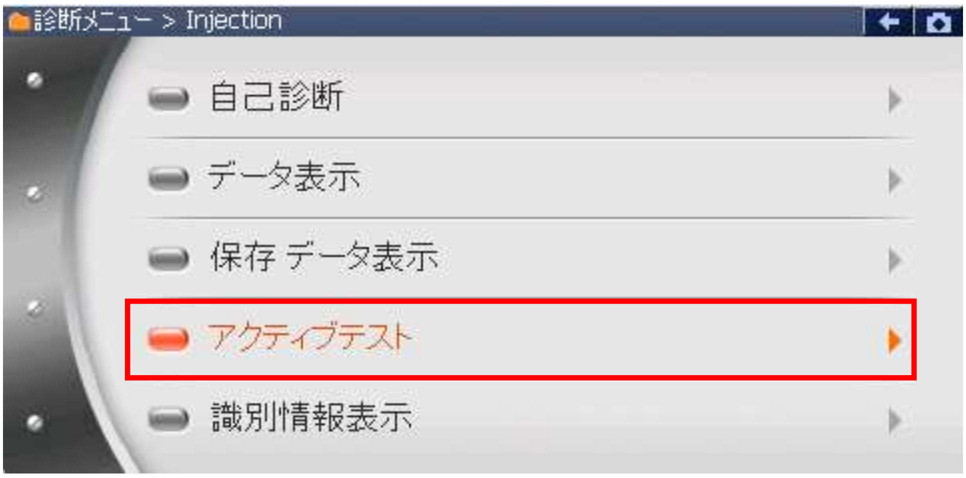


〈図:データ情報画面〉

⚠ 警告

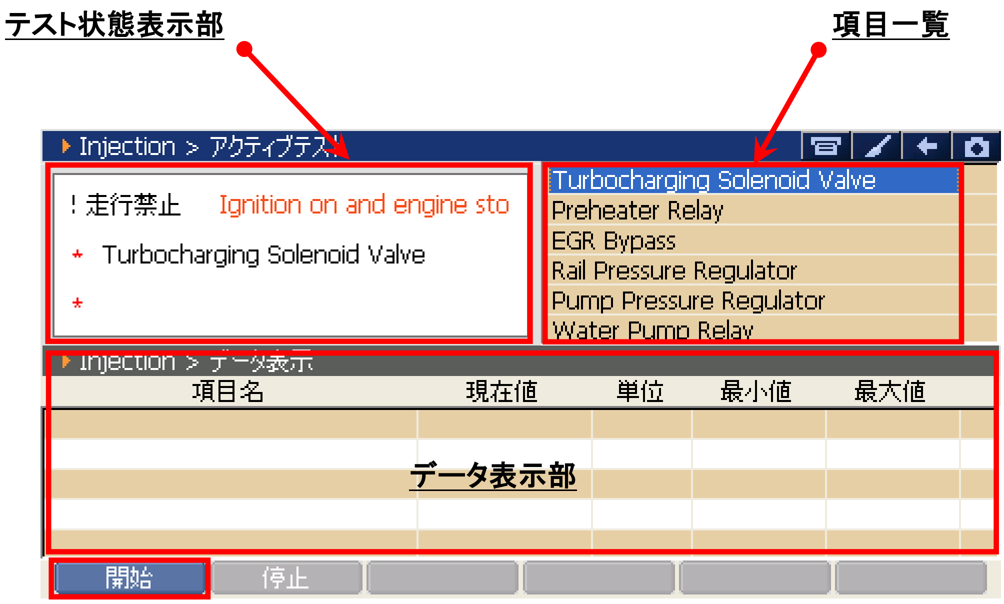
- アクティブテストはルノーのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1）診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2）アクティブテスト画面が表示されます。



〈図：アクティブテスト画面〉

テスト状態表示部 ： テスト状態が表示されます。

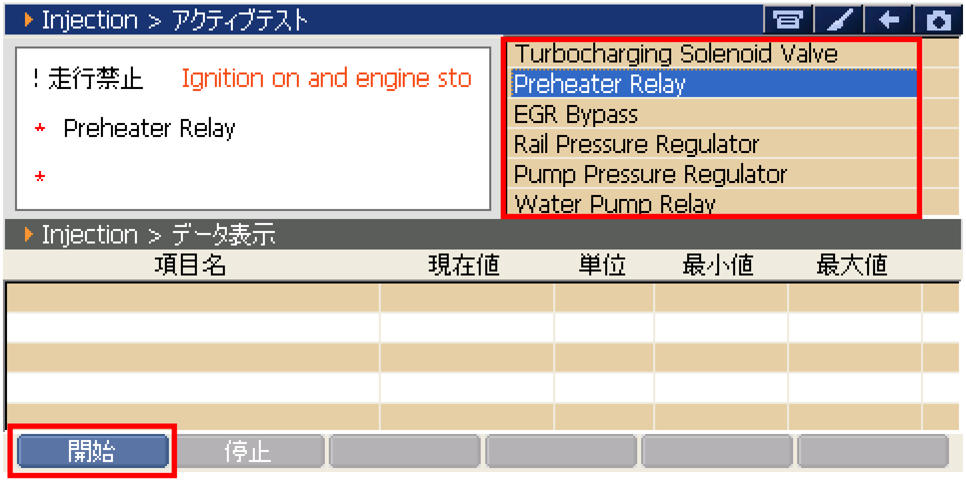
項目一覧 ： アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 ： アクティブテスト中のデータが表示されます。（一部表示されないものがあります）



アクティブテストを開始します。【詳細はP49 3)を参照】

3）アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、［開始］ボタンをタッチ、又は［F1］ボタンを押してください。



〈図：アクティブテスト画面〉

4）アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は［停止］ボタンをタッチ、又は［F2］ボタンを押してください。



〈図：アクティブテスト開始〉

※注意と補足※

- P49　4）の画面は『Preheater　Relay』のアクティブテスト実行画面です。
- アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

  テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

  『テスト失敗』と表示された場合、車両のテスト条件を満たした状態にして、再度アクティブテストを実行してください。



〈図：アクティブテスト失敗〉

⚠ 警告

- 作業サポートはプジョーのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

対応している作業サポートは以下の通りです。

＜＜ガソリンエンジン＞＞

項目名
ECUメモリ消去
EGRバルブ
EGRバルブ登録
OBDテストスタート:O2センサ
OBDテストスタート:触媒コンバーター
アイドルスピード減少
アイドルスピード増加
アルコールレベル登録
イグニッションコイル適応
インジェクタ
インジェクタIDコード登録
インジェクタコード入力
インジェクタシリンダ1
インジェクタシリンダ2
インジェクタシリンダ3
インジェクタシリンダ4
インジェクタ全シリンダ
インジェクタ適応 No.1

インジェクタ適応 No.2
インジェクタ適応 No.3
インジェクタ適応 No.4
インレットフラップ
エアダンパーバルブ登録
エンジン適応
カムシャフトセンサ登録
スロットルリミッタ登録
バンファストアイドルスピード減少
バンファストアイドルスピード増加
ピンキングセンサ登録
フューエルフローレギュレータ
フライホイール目標登録
プログラミング再初期化
プログラミング値
リッチネスレギュレーション登録
レール圧力センサ適応
ロック噴射制御
圧力調整適応
空気通路登録
消去
設定
設定読込
登録再初期化
登録値消去
燃料供給防止
燃料供給防止停止
排気インジェクタ系統
粒子フィルタ相対圧力センサ

＜＜ガスエンジン＞＞

項目名
設定読込

＜＜オートマチックギアボックス＞＞

項目名
自動適応
自動適応値消去
販売動作後最後の日付書込

＜＜UCH＞＞

項目名
[設定書込]フラッシングブザー
イモビライザ
設定読込

＜＜エアバッグ·プリテンショナ＞＞

項目名
[設定書込]FLハンドイナーシャホイール
[設定書込]FRハンドイナーシャホイール
[設定書込]サイドオン(ステアリングホイール)
[設定書込]シートベルト表示灯
[設定書込]ベルトリマインダーブザー
[設定書込]運転席シートバックルセンサ
[設定書込]運転席フロントエアバッグ
[設定書込]運転席フロントサイドインパクトセンサ
[設定書込]運転席フロントバックル
[設定書込]運転席フロント胸部サイドエアバッグ
[設定書込]助手席エアバッグロックモード
[設定書込]助手席エアバッグ警告灯
[設定書込]助手席フロントエアバッグ
[設定書込]助手席フロントサイドインパクトセンサ
[設定書込]助手席フロント胸部サイドエアバッグ
[設定書込]衝突情報接続
アンロックコンピュータ
ベルトプリテンショナ
ロックコンピュータ
最新のアフターケア情報書込み
設定読込

＜＜ABS＞＞

項目名
ABSソレノイドバルブ
エア抜き
ステアリングホイールアングルオフセットセンサ
スピードインデックス
ブレーキ圧力オフセットセンサ
横Gセンサオフセット
縦Gセンサオフセット
目標歯数チェック
油圧ユニットアンドブレーキ系統エア抜き

＜＜インストルメントパネル＞＞

項目名
アップデートオドメータ
オイル交換インターバル KM
オイル交換インターバル 月
オイル交換範囲:KMの現在値
オイル交換範囲:月の現在値
オートマチックイルミネーションライト
オーバースピードファンクション ー アラビア
カード・キー
ギアボックスタイプ
クルーズ制御·スピードリミッター

クロック
シートベルトリマインダーブザー
タイヤ空気圧モニタリング
タンク容量
ディスタンスユニット
ボディワークタイプ
レオスタットプレゼンス
言語設定
次のオイル交換前の距離
車速信号トランスミッタ
消費測定ユニット
設定読込
設定表示のみ
燃料ゲージキャリブレーション
予備容量
粒子フィルタ

＜＜コネクションユニット＞＞

項目名
オートマチックリロッキング設定
フラッシングブザー設定
設定表示のみ

＜＜エアコン＞＞

項目名
設定

＜＜運転席ドア＞＞

項目名
コンピュータ再初期化

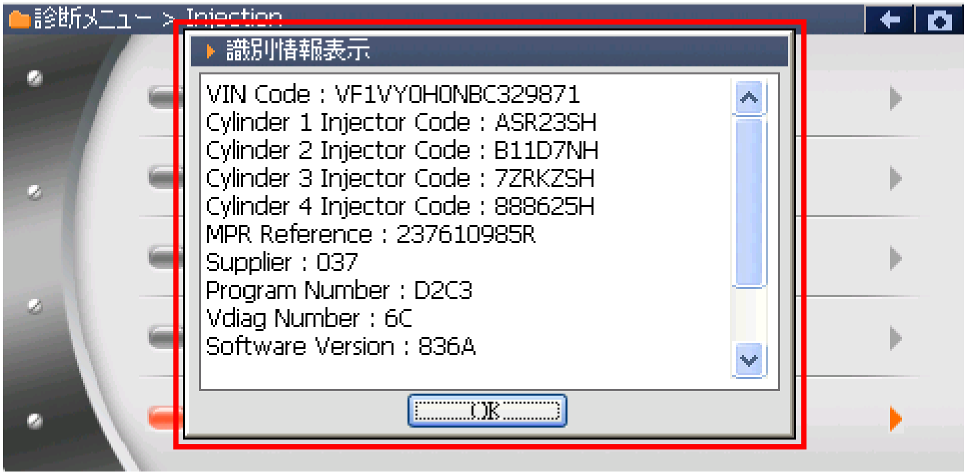
識別情報表示機能

1）診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて識別情報表示を選択〉

2）識別情報が表示されます。



〈図：識別情報表示画面〉

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年5月発行 第3版

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-28-3